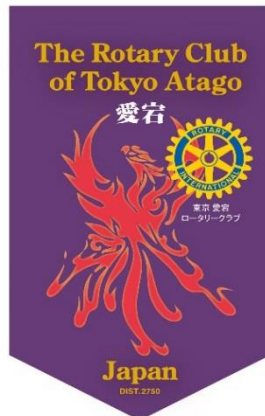


仮例会 Ver. No. 3
2013/8/20

WEEKLY REPORT 2013~2014



東京愛宕ロータリークラブ

会長 尾関勇 ・ 幹事 佐藤秀樹
副会長 石渡美奈 ・ 副会長 片山謙次
副会長 波多野まみ
例会場 東京アメリカンクラブ
例会日 毎週火曜日 8:00~

■本日のプログラム

<イニシエーションスピーチ>

東京愛宕ロータリークラブ 2013~2014年度 会長 尾関 勇

■前回の会長挨拶 8月6日(火)

会長 尾関 勇

たぶん今までで一番多い人数。先輩ロータリアンいらしていただきありがとうございます。今回は、このクラブ発足のきっかけとなりました波多野地区幹事より、ロータリークラブの価値についてお話しいただきました。また今回、父と並んでロータリーを行うとは思っていませんでしたが、先輩ロータリアンとして、私の父に卓話へ来ていただいています。

先週、7月は5週あり例会が休会だったため、アメリカに行って参りました。ドライブをしていると、町の入口にロータリーのマーク。例会場はどこかと見てみると、小さな町では教会で行っていることが多いようで、小さな場所ながらも行っているようでした。私たちも、今は例会をすることで必死だが、ゆとりをもって行っていきたいと思えます。

■前回の卓話 8月6日(火)

国際ロータリー第2750地区

東京赤坂ロータリークラブ 2012-2013年度 会長 尾関 武男 様

テーマ「ロータリーの価値について」

おはようございます。お招きありがとうございます。息子のクラブということで不思議ですが、ある日突然ロータリークラブを立ち上げると、親子ともども活動することとなりましたが、事情を聴くと、新しい思いで作ったということでした。ロータリーの価値、自分の人生でロータリーとはどういうものか。私自身がそこまでロータリーの経歴があるというわけじゃございませんが、始めは東京中央RCへ1987~1999年の約10年間、友人より声をかけていただき、社会貢献の一環ということで、35名ぐらいで起こしました。それから、新南RC(赤坂の前身)に移籍しました。理由は、元々赤坂の生まれであり、3代ずっと例会場の全日空ホテルの真ん前にいたため、利便性も含め移籍をしました。2000年からなので今年で13年、ロータリーは足かけ23年間となりましたが、その中で何をしてきたか。会長を仰せつかって1年間、大半のことは経験しました。「ロータリーとはなんぞや?」友達を作ること、お役目を与えられればできるだけ皆さんと一緒に汗を流そう、その程度に考えていました。職業奉仕委員長時代は、職業倫理、会社の一つの倫理をどのように行っていくのか、社内監査として働いている職種の方々にご指導いただきながら、「ロータリーをやっているとよかったな、大変勉強になるな」というのがその時の実感でした。それから親睦委員長なども務めました。会長の前年度は3・11の震災に遭遇しました。東京麻布RCが子クラブとしていますが、一人一人のロータリアンの意識、姿勢が高く、早速直後4月の頭には出向き、その報告を受けた際「すごいな」と思いました。東京RCは1920年にでき、実際にはその3年間活動がなかったといえます。何がきっかけで東京RCの活動が始まったかということ、大正14年の関東大震災でした。各国から寄付を頂き、その金額や規模に驚き、これがRCの活動と実感し、活動が広がってきたのです。そして2号ロータリーである大阪RCができました。今日まで日本での経済復興、震災復興、まさしく発展途上の中で拡大していったと聞きました。そういう中で一つの奉仕活動が目覚めるのか、早速僕らもと6月に向かいました。現地の水沢東RCより、ぜひ陸前高田へ行ってほしいと言われました。震災直後だったので、異様な臭いと悲惨な姿を見て、まったく日本とは思えない、こんなことがあっていいのかと思うほどの様子でした。ご案内いただいた方は陸前高田RCの方でした。事務所もなければ、30名中20名がお亡くなりになったそうです。案内してもらい、2キロほど海からある小学校を指さし、家内はあそこで見つかったのです、と笑顔でおっしゃいました。ご自身辛いのに、踏ん張って私たちのために案内されていて、これは何とかしないといけないと思えました。同じ日本人として何ができるのか。ちょうど、各地から支援物資が届き、地区の大先輩がその支援関係の中心で動いていたため、僕らもそのお手伝いをしようと思えました。会長の前の年に震災があり、やはりロータリーに入っているとよかったな、と思えます。私がなぜ、本日この話をしようと思ったのかということ、ロータリーの価値は自分自身が入ったからには何かを見つけ出してほしいからです。これがある方とない方では一つのクラブ活動、JCや商店街のお役目、祭りの実行委員、法人会、全部一緒に、皆さんで立ち上げて成功させていこうと思うわけで、ぜひご縁があってロータリーにお入りになったという事で、ご自身にその価値を見つけ出してほしい。これがひとつ、原点にあるのかなと思います。(裏面へ続く)

そういう中で、日本は寄付という行為にもすごく悩みますね。なかなか集まりにくいのです。ロータリー財団の寄付、米山財団の寄付等も支援がいるわけです。会長になる前は、仕方ないかなと思っていましたが、この原資というのがあったからこそ我々が助かったのです。陸前高田への寄付の場合で7クラブ合同で700万円ご協力いただき、また日本委員会活動でも半分の350万円協力していただき実行しました。こういうことが、歴史的にたどれば、東京RC創立3年後の、関東大震災の各地からの姿が規模は違えど、基本的にあるのです。寄付は、クラブに入っているときに実感できないと、また寄付かと思ってしまいます。欧米との違いは、文化と宗教の違いかなと思います。毎週ミサを受け、精神的に人に施す気持ちが根底にあると思う。日本も儒教国のためなくはないが、現代では先輩諸氏より教えを受けてきていない、それが根底にあると思います。そして一方、我々の子クラブの思いは我々と違うかと、一人一人の資質、考え方が異なる、これがロータリーの活動の原点ではなからうかと。本日のロータリーの価値についてというのは、実はロータリーという組織の中でどのようにして社会貢献するのか、それがひいては自分の会社に社員の方にどのように知らせ、助け、友情を持って、一つの行動を起こしていく。日本の経済の基盤を作るものではなからうかと、こういうものに結び付けていかなければロータリーに入った意味がないのかなと。ロータリーバッジは決してステイタスの者ではなくて、誇りに思うことがロータリーのあるべき姿ではなからうかと思う次第です。愛宕RC、21名の絆を深く持って、舟木ガバナーの思いで新しく誕生するクラブでございますので、一つ頑張って、いいお友達としてお付き合い、していただきたいと思っております。クラブ、親クラブがないのは心配もありますが、ない方がしづみがないのかと。自由にありつつ、ロータリアンとしての行動規範に沿って頑張っていたいただければと思います。



■出席報告

・前回出席状況

会員数	21名
出席者	18名
ビジター	3名
ゲスト	0名

■ニコニコ報告

2013年8月6日(火)のニコニコ

¥24,000 累計¥136,000

皆様、ご協力ありがとうございます。

■今月のスケジュール

8月27日(火) 創立総会
朝例会時に行いますので、**全員ご出席くださいませ。**



～四つのテスト～

1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか
- 言行はこれに照らしてから行うべし

国際ロータリー第2750地区

東京愛宕ロータリークラブ

<事務局>

〒106-0044 東京都港区東麻布2-15-2 アンゼン・パックスビル2階

TEL:03-3568-3827 / FAX:03-3568-3829 / E-mail:office@atagorotary.com

広報戦略委員長 柳 邦明

<http://atagorotary.com/>

